

令和5年度 第2回人吉市地域公共交通活性化協議会 会議録

日時：令和5年11月28日（火） 午前14時30～午前15時20分

場所：人吉市役所3階 庁議室

出席者：別紙名簿のとおり

結果：すべて承認

各議事における要旨は以下のとおり

1 議事

（1）議事1 人吉市地域公共交通活性化協議会と人吉市地域公共交通会議との統合について

質問・意見等

（熊本高等専門学校建築社会デザイン工学科 橋本准教授）

資料4Pには、「地域公共交通分野にかかる各協議会等を活性化協議会に一元化することを可能とする」と記載がありますが、今回は交通会議に一元化するという事でよろしいでしょうか。

（事務局）

交通会議に一元化するという事で考えております。交通会議条例では、委嘱させていただいた方は、特別職の交通会議委員と位置づけされますので、交通会議に一元化させていただき、追加で交通会議委員として委嘱する予定でございます。

（人吉球磨タクシー協会 北会長）

交通会議の委員で労働組合が2つ委員として入っているが、産交バス様は全九州産業交通労働組合に入っているが、人吉球磨のタクシー会社は、熊本県自動車交通労働組合に入っていない状況なので、2つ必要なのかなと思ったところです。

（事務局）

これまでの経緯もございますが、幅広くご意見を伺うこととしておりますので、2つの労働組合が入っているところでございます。事務局としましては、このメンバーに活性化協議会メンバーを追加する形で統合することとしております。

（人吉球磨タクシー協会 北会長）

人吉球磨のタクシー事業者は、3年前に労働組合から脱退している状況で、実情がわかっていない状況で、質問もあっている状況があったので質問させていただきました。

市の考えとして、幅広く意見もいただくということがあるのであれば、それでもかまわない。

《1号議案 承認》

（審議後）

2 その他

（一括報告）

(1) 人吉市予約型乗合タクシー（下田代線）の運行時間の追加について

(2) 人吉市予約型乗合タクシー（矢岳線）の実証運行について

(事務局)

人吉市予約型乗合タクシー（下田代線）について、10月26日の交通会議において、運行時間を追加した内容と12月1日から運行開始する旨説明。

また、本日の交通会議において、人吉市予約型乗合タクシー（矢岳線）の実証運行について、交通計画にもあった、交通空白地の解消のために実証運行を行うことが承認されたことについて報告。実証運行の内容、実証運行期間等について説明。

質問・意見等

(人吉球磨タクシー協会 北会長)

人吉市予約型乗合タクシー（矢岳線）の実証運行について、受付時間については、サマータイム（受付時間延長）も行っているの、その内容についても記載をお願いしたい。

(事務局)

記載したいと思います。

<全体を通した質問・ご意見>

(人吉球磨タクシー協会 北会長)

本日は、運輸支局からお越しいただいておりますので、ご質問したいと思います。

国会でも審議されているライドシェアについてです。

予算委員会では、元副知事の小野たいすけ衆議院議員も「熊本のへき地においては、デマンド交通もままならないようなドライバー不足で、どうしようもない」というような発言がありましたが、国会の場でそのような発言をされるということは、いかがなものかと感じております。また、小泉元環境大臣も年内には制度化をしたいと言っているが、その点は、運輸局として答えられる範囲で回答いただければと思います。

(九州運輸局熊本支局 白石首席運輸企画専門官)

国会を含めて、色々なところで議論されていることですので、具体的なことをお答えすることはできません。岸田総理も「年内をめどに一定の方向性を出す」と言っていることですので、国交省を中心に、色々なところと様々なことを検討しているのだと思います。

今回の議論がされる前から、運行管理や責任問題、安全性など問題があるということは常々言っていることです。現状、観光地や過疎地で需要に対して供給できていないと報道等でも言っていることですので、そこに対してどう対応していくのか、これから議論されていくと思います。

今年の5月頃に、国交省でもラストワンマイルの検討会を立ち上げており、中間報告など出ております。その中で、供給不足に対する対応策の案を出しておりまして、その中で、地方部で一番可能性がある施策の一つが、乗合タクシーはタクシー事業者が乗合の許可を受けて二種免許のドライバーで運行しているが、その乗合タクシー事業者が一種免許の方を管理のもとに、乗合タクシーを補完する形での案は出ています。

そういったものが制度化されれば、現状の供給不足が少しは改善されるのではないかな
とっております。

(人吉球磨タクシー協会 北会長)

今回、この場で発言させていただいたのは、この協議会が安易にライドシェアに飛びつ
かないでほしいという想いもあって発言させていただきました。

先ほどのお話は、神奈川版のライドシェアの提案にあった内容のようですが、ライドシ
ェアは危険な乗り物だという、安易にライドシェアを取り入れないでほしいと思ってい
ます。

(九州運輸局熊本支局 白石首席運輸企画専門官)

ライドシェア等の導入については、交通会議を経て、地域の合意がない状態での導入と
いうことはあり得ませんので、合意が取れないままの導入ということにはならないと思
います。

ドライバー自体を増やしていかないといけないと思っております。安全の確保と担い手
を確保していくことをバランス取りながら制度設計を考えていっていると思います。

(会長)

色々なご意見がございますけれども、地域の実情に合った地域公共交通網の構築が必要
だと思っておりますので、事業者の皆様と、国県からは今後の情報提供もいただいて、新
たにできる地域公共交通会議で持続可能な交通体系を構築できればと思っておりますので、
引き続き御協力をお願いしたいと思っております。